

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 嶋田和孝 副委員長 吉田光男・小早川 健
幹事 坂地泰紀・石野亜耶 幹事補佐 高橋寛治・光田 航

日時 9月10日(木) 9:30~18:20

会場 オンライン開催

議題 第16回テキストアナリティクス・シンポジウム

情報抽出 (9:40~11:10)

1. ランキング学習を用いた関連記事候補の抽出

○塩田 宰・嶋田和孝(九工大)・野上真司・福山修平(西日本新聞)

2. 大学医学部 Web サイトからの医療技術文の抽出 ○菅原佑太・高野海斗・酒井浩之(成蹊大)

3. 人物の属性を区別した定期的事象の獲得 ○山元航平・嶋田和孝(九工大)

招待講演 (11:20~12:00)

4. [招待講演] ネットワーク分析に関連するテキストアナリティクス 久野遼平(東大)

午後 分析1 (13:00~14:00)

5. 救助要請である可能性の高いツイートの特徴の検証—令和2年7月豪雨を対象に—

○宋 晨潔・藤代裕之(法政大)

6. コロナ禍における潜在ニーズの表出化とデータ連携に関する一考察

○早矢仕晃章・上原 直・長谷大輔・大澤幸生(東大)

招待講演 (14:10~14:50)

7. [招待講演] 名刺交換データ・企業ニュース・B2B ブランド調査から見た COVID-19 の日本のビジネスへの影響

○前嶋直樹・○真鍋友則・○橋本 航(Sansan)

教師なし学習 (15:00~16:30)

8. 教師なし学習及びリランキングを用いた宇宙機関連テキストデータの情報検索の特性に関する考察

大久保梨思子・○波平晃佑・植田泰士・片平真史(JAXA)・川村晋太郎・金崎克己・内藤昭一・勇 嘉偉(リコー)

9. 発話系列ラベリングの教師なしドメイン適応—コンタクトセンタタスクへの適用—

○折橋翔太・牧島直輝・庵 愛・高島瑛彦・田中智大・増村 亮(NTT)

10. chiVe: 製品利用可能な日本語単語ベクトル資源の実現へ向けて—形態素解析器 Sudachi と超大規模ウェブコーパス NWJC による分散表現の獲得と改良— ○久本空海・山村 崇・勝田哲弘・竹林佑斗・高岡一馬・内田佳孝(ワークス)・岡 照晃・浅原正幸(国立国語研)

分析2 (16:40~18:10)

11. 言語情報の信頼性—通信路誤りと情報源誤り— 得丸久文(著述業)

12. PMI を用いた新聞記事におけるカテゴリ・テーマ推定

○姫野拓未・嶋田和孝(九工大)・村重剛弘(西日本新聞)

13. メタデータを用いたデータ流通プラットフォーム上のデータ類似性の検証 ○坂地泰紀・早矢仕晃章(東大)

◎オンライン懇親会 (18:20~)